



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫  
副会長 古賀 健一郎  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一  
ブリテン 古賀 健一郎  
野村 郁雄  
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

田口 努

「隣人を自分のように愛しなさい」

(マタイによる福音書 22 章 39 節)

今月のひとこと

「I Have a Dream」

大江 浩



今日は、米国の公民権運動の指導者マーティン・L・キング牧師 (Martin Luther King Jr.) が凶弾に倒れた 1968 年 4 月 4 日から 50 年目の日です。キング牧師のあの歴史的な名演説「I Have a Dream」(私には夢がある)は、人種差別撤廃と人種の調和を訴え、私たちの記憶に深く刻ま

れています。短い 39 年の生涯でしたが、キング牧師が人々に与えた夢と希望は不滅です。しかし今、憎しみと非寛容による分断が深刻化する世界の現実を目の当たりにして、キング牧師は天国から何を語るでしょう。

公民権運動は、アフリカ系米国人だけのものではありません。全ての抑圧された少数者のものです。私は、阪神・淡路大震災 (1995 年) の時の被支援を契機に出会った、23 年来の親友であるサンフランシスコの日系人から聞いたことがあります。彼ら日系人は、第 2 次世界大戦中の強制収容所での過酷な迫害や差

別による受難を生きてきましたが、キング牧師の公民権運動によって大きな勇気と励ましが与えられ、日系人も声を上げ始めた。

キング牧師は牧師の子として生まれ、15 歳でバプテスト教会の説教者となりましたが、鉄道機関助手やトラック運転手等をしてながら高校を卒業し、その後大学に進学し、牧師を目指します。米国 YMCA 150 周年 (2000 年) を記念して全米で放映された数十秒のビデオメッセージには、キング牧師が少年時代に YMCA のメンバーであったこと、そして YMCA の奨学金を得て就学した物語が映しだされました。大変感銘を受けたことを鮮烈に覚えています。キング牧師は、横浜 YMCA でいえば「BAPY 基金」によって、その後の偉大なる生涯を歩んだこととなります。「子どもたちの未来を育てる」、それは YMCA の大切な使命です。私がかつて担当した神戸 YMCA・余島キャンプ場のゲートには「“Tomorrow's Leaders are made today.” (明日の指導者は今日創られる)」と掲げられています。YMCA が目指す「“ポジティブネット”のある豊かな社会」は、子どもたちを支え共に生きようとする今日一時一日の積み重ねによって創られています。私たちには、夢があります。

<2018年3月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
16名	メン 12名	81 % (メーキャップ 1名を含む)	今月分
	メネット 0名		切手 0g
	コメント 0名	現金 0円	
	ビジター 0名	年度累計	
	ゲスト 1名	前月修正出	切手 0g
	合計 13名	席率 %	現金 0円

## <4月の行事予定>

### 強調月間「LT (Leadership Training)」

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
21	土	15:00	第3回部評議会	中央YMCA
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

## 「3月例会報告」

伊藤 誠彦

日時：3月8日（木）18:30～20:20

場所：横浜中央YMCA501号室

出席者：青木、伊藤、今村、大江、大高、押川、金子、古賀、齋藤、舟田、古田、松島

ゲスト：永見正敏氏（卓話者）

例会は、今村ワイズの司会により定刻に開始。舟田会長による開会点鐘、挨拶の後、ワイズソング、ワイズの信条の唱和、今月の聖句が青木ワイズにより朗読された。

舟田会長より今月の卓話者が紹介された。卓話者は2月例会で卓話をして下さった政金驍さんが理事長を務めるNPO法人「シニアボランティア経験を活かす会」監事の永見正敏氏。永見さんは特殊法人国際観光振興会に勤務されていたこともあって「観光」の専門家。卓話のタイトルも「国際観光よもやま話」。



卓話者の永見氏

最近の国際観光事情、海外赴任地での経験談、そして、少し変わり種の話で、航空機のパイロットに緊張を強いる世界の危ない空港の話、と続いた。

政府は2020年に訪日外国人旅行者数を4,000万人にする目標を掲げているが2017年には2,800万人超に達している。2000年代初頭には入国者数に比べて、出国者数が多かったのに対して、今では入国者数が出国者数の1.6倍と増えている。

世界的に見れば外国人訪問客が最も多いのがフランスの8,000万人超で、日本は12番目だとか。日本の場合、中国、韓国に加えてASEAN諸国からの訪日客が80%と多いのが特徴。今後は欧米からの訪日客をいかに増やすかが課題であると言う。

続いて、海外赴任地で経験したいろいろなエピソードが披露された。例えば、・・・タイのバンコクで道路に大きな丸太が落ちていたと思ったら実は大蛇だったとか、米国ニューヨークでは電車の中でアジア人の隣の座席は最後に埋まるとか、ロスアンジェルスの中核居住区では週末に飲酒運転の取り締まりが厳しくなるとか、韓国ソウルではアパートの家主はほとんどが個人でトラブルが絶えないとか、等々

最後は世界の危ない空港、滑走路の近くに巨大な岩山があり、滑走路が車道と交差しているジブラルタル空港、滑走路が標高2,900mに位置し、空気が薄いネパールクラのテンジン・ヒラリー空港、滑走路が僅か400mと世界一短いオランダ領サバ島の空港、山間にあり僅かな平地に作ったネパー

ルのカトマンズ国際空港、レーダー誘導による計器飛行ができず、有視界飛行になるとか。この空港では1992年にタイ航空、パキスタン航空が相次ぎ墜落事故を起こしている。この卓話を聞いた4日後の3月12日、バングラデシュ機がカトマンズ空港で着陸に失敗し50名ほどの人が死亡したニュースが飛び込んできた。本当に危ないんだ、オー怖！

卓話の後にはビジネス、5月の一泊研修会では古田次期会長の論点整理に基づき、クラブのあり方を議論することを確認した。

## 「第80回Y-Y's協議会報告」

金子 功

第80回Y-Y's協議会が3月6日（火）午後7:00より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は横浜とつかクラブが担当。長田光玄担当主事の司会により讃美歌18番を唱和、聖書朗読（マタイによる福音書22章34節～40節）、祈禱による開会礼拝で始められた。

議事は浦出横浜とつかクラブ会長の司会により進められた。田口総主事と金子部長の挨拶に引き続き、メッセージIとして、池田直子広報担当から「YMCA NEWロゴの広がりーワイズメンズクラブの今後の留意点」と題して解説があり、新ロゴの使用については原則担当主事に相談するようこのアドバイスがあった。

メッセージIIとして、総主事室国際・地域の大家英彦担当より「東日本復興支援ー今、私たちにできること」と題して、今でもYMCAが取り組む募金活動他、支援に関する啓蒙活動についての報告があった。

報告事項としてはYMCAより①2018年度横浜YMCA全体事業方針・計画（田口総主事）；②横浜YMCA会員大会（井上孝一金沢八景担当主事）があり、ワイズメンズクラブからは①Y-Y's合同新年会；②部長沖繩公式訪問（以上金子部長）；③部EMC委員会（佐藤節子次期部長）があり、その他各クラブ会長より報告があった。

尚、当席上において、金子部長より横浜YMCA学院専門学校が大会事務局として開催する第3回神奈川県臨床作業療法大会に湘南・沖繩部が協賛することが報告された。

当日の出席者：ワイズ；15名、YMCA；6名  
横浜クラブ出席者：青木、伊藤、金子、田口、古賀、舟田、古田。次回予定は6月5日（火）、厚木クラブが担当。以上

## 「次期クラブ会長・部役員研修会報告」

伊藤 誠彦

2017-18年度の標記研修会が3月3日（土）13:00～4日（日）12:25、東山荘で開催されました。



本館前スロープでの全員集合写真



研修は北村文雄LT委員長をはじめ、LT委員の方々が周到に準備下さったもので、厳格な時間管理の下、円滑に運営されました。

研修は現役員による現状報告、本館前のスロープ前での全員集合の記念写真、次期役員による方針説明と続き、その後グループに分かれて更に理解を深めるための時間が設けられた。湘南・沖縄部は千葉LT委員（鎌倉クラブ）の司会の下に意見交換を行った。

現・次期東日本区役員の現況報告、方針説明で強調され、印象に残っているのは、YMCAとワイズメンズクラブとが“目標を共有し、ともに力を合わせて活動する”、協働関係の強化。横浜クラブはYMCAと良好な関係を維持しているものの、もう一度原点に戻ってワイズの果たすべき役割を再整理し、より効果的で効率的な活動の在り方を見直すべき時期にきていることを筆者は認識した。

夕食の後は、部ごとに部長を囲んで懇親会。湘南・沖縄部は佐藤次期部長（厚木クラブ）を囲んで和気あいの懇親の時を持った。

2日目の研修の前半は部事業主査、書記会計など部役員の役割と注意事項の説明。

休憩を挟んで次期会長グループと事業主査・部役員グループに分かれて研修があった。

横浜クラブからの参加者は、古田次期クラブ会長、伊藤次期部会計、古賀次期会員増強事業主査の3名でした。



夕食後懇親会の様子

## 湘南・沖縄部EMC委員、次期会員増強主査として

古賀 健一郎

東日本区において会員数の減少傾向の現状問題に鑑み、湘南・沖縄部においてもこの課題を共有し、YMCAとの協働によって、会員増強や新クラブ設立に向け真剣に取り組んでいる。ワイズ歴の浅い私は、今年初めて他の地域の部の方々ととの交流の機会を得た。ある会合の席で、ノンクリスチャンの方々から、クラブ例会やYMCA関連の行事に対して宗教色を薄めて欲しいとのご意見がでたが、「クリスチャニティー」を押しつけと捉えず、ワイズの伝統の精神の肯定的な理解として受け入れていただければと願う。

私のワイズの入会理由は、「ワイズの交わりを通してYMCAの活動に関わる」ことであった。3月東日本区主催の次年度会長・役員研修会において、宮内次期理事が基本方針に掲げられた「キリストの愛の精神とYMCAサービスはワイズの拠り所、アイデンティティー」に共感を覚えた。多様な分野でのYMCAの活動に心動かされた最近の一例として、2月の「ピンクシャツデー」の取り組みがある。このカナダ発のいじめ反対運動は日本など世界各国に広がっている。私たちの神奈川地区においても、YMCAを中心に地道に運動を続けてきた結果、企業や行政にまで協力の輪が広がり、知事や横浜市長も一緒に「いじめストップ」を呼びかけた。2月28日は大観覧車などがピンク色にライトアップされた。イベント会場では、中学生の寄せ書きの掲示に目が留まった。い

じめにゆがんだ顔が下地に描かれ、その上に中学生の愛情に満ちた数々のメッセージが載せられ、その暗い顔を温かく覆っていた。今もなお、他の人の尊厳や命を踏みこむ事件は後を断たない。いじめにあつて救いを求めて教会学校にきた子どものことも思い出し、彼らの寄せ書きは私の心にしみた。

最も弱い立場に置かれた者への視点を大切に考えるYMCAには、英国での十数名の若者によって始められた祈りと社会貢献の活動の精神が息づいている。そんなYMCAを支えるワイズメンズクラブの働きをより多くの人に知っていただき、その活動に微力ながらも貢献していきたい。

## 「前田高地にて想う」

青木 一弘

2月上旬、部長公式訪問に同行し、久方ぶりに沖縄の地を訪れた。その地で、目の当たりにしたのは、ハリウッド映画「ハクソー・リッジ」の舞台ともなった「前田高地」（浦添市）であった。70年以上も前、一人の「英雄」が第二次世界大戦の激戦の中、多くの傷ついた米軍兵士の命を救った場所である。映画は、沖縄戦で75名の兵士をたった一人で救出したセブンスデー・アドベンチストの衛生兵、デズモンド・ドス伍長の物語である。その勇気ある行動のゆえに、アメリカ合衆国最高の軍の荣誉である米軍最高勲章が授与された。デズモンド・ドスの物語は、今まで何回も語られてきたようだが、映画では、彼の目覚ましい功績を伝えるために、初めてメジャー作品となったようである。

以後、「ハクソー・リッジ」は大変な評判となり、様々な影響を与えたようである。劇中では、デズモンド・ドスの信仰、生き方、またこのような勇敢な行動をする彼を守った「神」について語られている。

この映画では、デズモンド・ドスの信仰を過小評価したり、彼の考え方について軽視も蔑んだりもしていない。むしろ非常に丁寧に、尊敬を込めて、正確に神に対する信仰を表現している。彼は、バランスのとれた人、安息日を守り、菜食主義者で、聖書に忠実なクリスチャン、圧倒的な敵対者を前にしても聖書信仰に立とうとする信仰の人として描かれている。

「ハクソー・リッジ」はクリスチャンの動かされない神への強い信頼を描いた感動的な物語である。この映画は、セブンスデー・アドベンチスト教会の信仰を世界中で意識される舞台へと押しあげようとしている。この真実の物語は政治の枠を超え、宗教的な境界さえ超えていこうとしている。私たちは、ハリウッドやメル・ギブソン監督がデズモンド・ドスの物語を熱心に伝えるのに、戦闘の暴力場面をふんだんに用いたことに賛成する必要はない。映画そのものを支持しなかったとしても、「ハクソー・リッジ」が提供する機会を用いることはできる。私たちが映画を観なかったとしても、隣人や同僚、友人たちはきっと「ハクソー・リッジ」を観たことであろう。新聞の見出しを占領したこの映画と一緒に、世界中の人々に機会を提供し、デズモンド・ドスの信じる神とその信仰を好意的に語るができる。「人間は正しく信念と勇気を持つことで、大きな偉業を達成しうるパワーを内に秘めているのだ」というメッセージが鮮やかに伝わってくる。前田高地は、「命を奪う戦場で、命を救おうとした」1人の男の葛藤と強い信念を浮き彫りにした衝撃的な場所であった。

## 第二例会報告

古田 和彦

日時：3月22日（木）17：00～18：30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、舟田、古田、平岡（日本語学科）

協議・確認・検討事項

- ① 今後の行事予定の確認
- ② 功労会員で天に召された高杉治興氏の思い出について文代メネットにその是非を問い合わせていたが、高齢であることから辞退の返事をいただいている。
- ③ 本年の1泊研修会  
日時 5月18日（金）～19日（土）  
場所 上郷森の家  
内容はクラブ運営の諸点について時間をかけて話し合うこととし、その、論点を古田ワイズが提案したが、意見を受けて、さらに、検討していくこととした。
- ④ ブリテン編集協力者を外部の人に委託することで青木ワイズに人選を依頼することとした。
- ⑤ 第5回スピーチコンテストの反省を、平岡氏を交えて行った。また、当日のDVDがあるので、4月例会時に見ることとした。また、平岡氏から、次回、第6回以降、横浜中央YMCAの日本語科主催から横浜YMCA全体（川崎・厚木との合同）のスピーチコンテストにしたいとの提案を受け、了承した。日程は次の通り。早めに広報していくため、案内チラシを5月までに作成するよう依頼した。  
第6回横浜YMCA日本語スピーチコンテスト  
2018年9月5日（水） 於 県民ホール小ホール
- ⑥ 富士山募金に17万円（トータル50万円）をファンド会計から支出する。
- ⑦ 卓話予定  
4月12日：山田史子さん
- ⑧ 4月号ブリテン計画
- ⑨ その他



担当主事 青木 一弘

### ●2018年度 横浜YMCA基本聖句の紹介

隣人を自分のように愛しなさい。

（マタイによる福音書 22章 39節）

2018年度は、YMCAのブランドバリュー（社会に約束する価値の共有化）に沿ったプログラムを具体的に実践していきます。特に社会のネガティブな部分に目を向け、寄り添い、できることを考え続け、知恵を積み重ねながら希望を生み出す働きを目指していきます。「ブランディング元年」となる歴史的な年を、皆で協同し、ともに行動していきたく思いますので、本年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

### ●ピンクシャツデーの報告

2月28日（水）に、横浜YMCAではピンクシャツデーに取り組みました。多く子どもたちが「人の気持ち」を考えるきっかけとなり、大人たちはこれからの社会を変えていくために行動をしました。「いじめ撲滅」までの道のりは簡単ではないのかもしれませんが、社会全体がいじめに対して高い意識を持ち、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」とならないことが、いじめられている子どもを救うことになると考えます。横浜YMCAの各ランチではピンクのシャツや小物を身に付けて「いじめのない世界をつくろう」と訴え、多くの皆さんが「いじめ」について考え、自分のこととして考えた1日になりました。

### ●富士山YMCA研修棟献堂式の報告

3月10日に富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジで研修棟の献堂式と感謝会が行われました。40名を超える方々にご来場いただき見守られながら完成を祝いました。新たな研修棟には、壁材にホタテパウダーを使用し、床は年月が経つほど味わい深くなるように作られています。100年先を見据えてこれからも富士山YMCAは地域・世界の皆様に愛される施設を目指し歩んでいきます。

### 4月例会プログラム

日時：4月12日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：古賀ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 舟田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . 全員
3. 今月の聖句 . . . . . 田口ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 舟田会長
5. 食前感謝 . . . . . 田口ワイズ
6. 食事
7. 卓話 「日系ブラジル人ってどんな人？」  
シニアボランティア経験を活かす会 山田史子氏
8. ビジネス・報告 . . . . . 舟田会長、他
9. **Happy Birthday** 大江なおみ (2)
10. 閉会点鐘 . . . . . 舟田会長

例会報告：古田ワイズ

### 5月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
18	金	15：00	第一例会兼一泊研修会	上郷森の家
24	木	17：00	横浜クラブ第二例会	横浜YMCA
26	土	17：00	横浜YMCA会員総会	とつかYMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785